

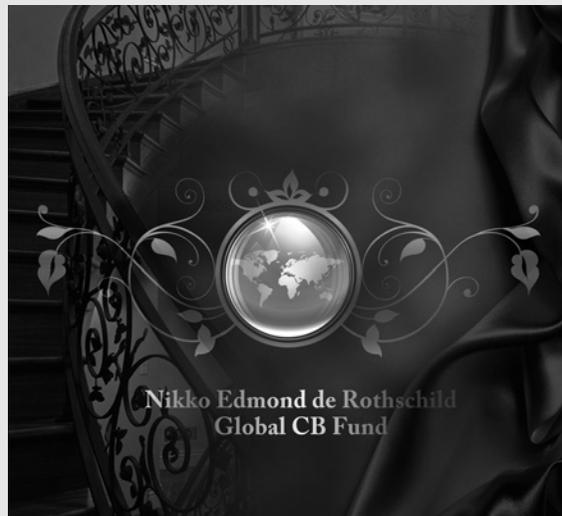
# 日興エドモン・ドゥ・ ロスチャイルド・ グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

日経新聞掲載名：日興グCB無

2023年10月27日から2024年9月11日まで

第 9 期 償還日：2024年9月11日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、世界の企業が発行する転換社債等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

償還価額(償還日)	11,913円35銭
純資産総額(償還日)	982百万円
騰落率(当期)	+3.8%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

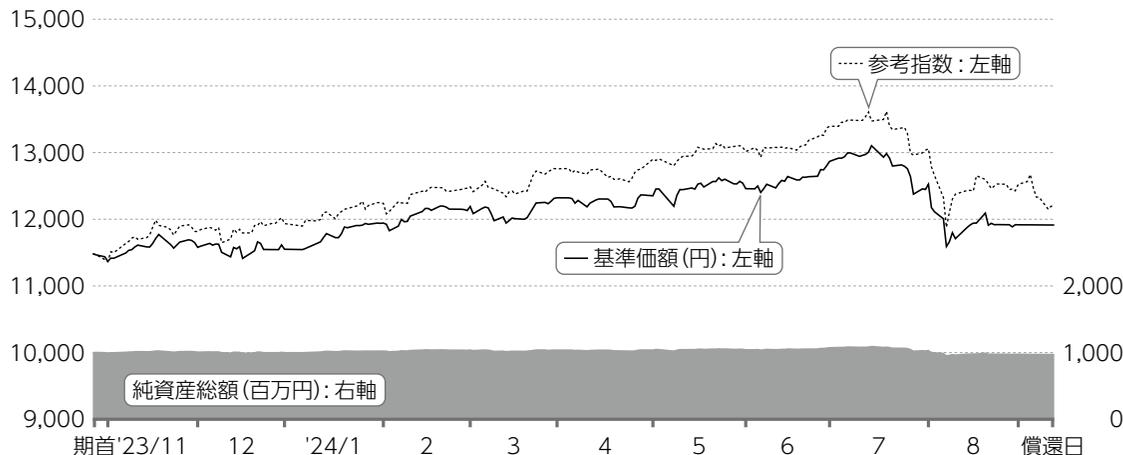
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

## 基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	11,481円
償還日	11,913円35銭
騰落率	+3.8%

※当ファンドの参考指数は、FTSE・グローバル・フォーカスCBインデックス(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界の企業が発行するC B(転換社債)に投資しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

#### 上昇要因

- 2023年後半に米金利の低下や株価の上昇がプラスに寄与したこと

#### 下落要因

- 米ドルが対円で下落したこと

1万口当たりの費用明細(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	117円	0.965%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は12,116円です。
(投信会社)	(32)	(0.260)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(82)	(0.675)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.029)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(-)	(-)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	117	0.967	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

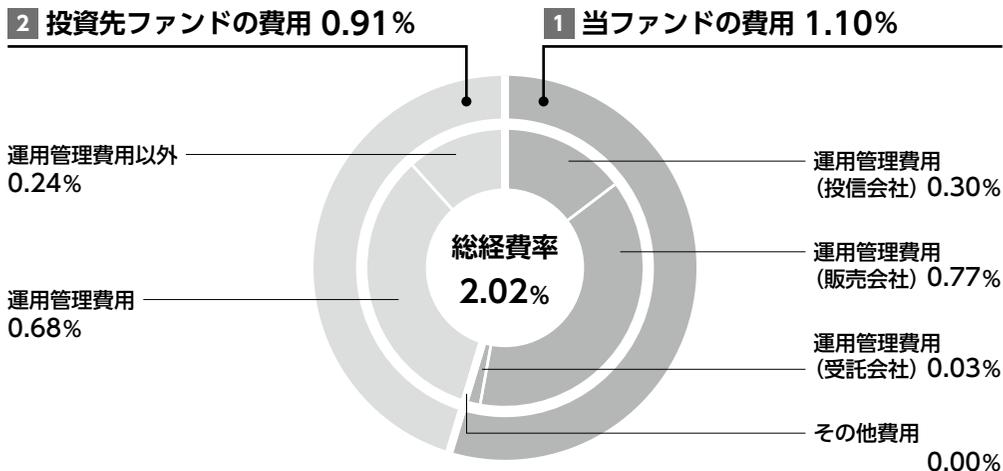
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>2.02%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.10%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.68%</b>
<b>投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>0.24%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算した経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.02%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年10月26日から2024年9月11日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年10月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018.10.26 決算日	2019.10.28 決算日	2020.10.26 決算日	2021.10.26 決算日	2022.10.26 決算日	2023.10.26 決算日	2024.9.11 償還日
基準価額 (円)	9,263	9,157	9,986	11,225	11,242	11,481	11,913.35
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	280	340	0	110	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-1.1	12.1	15.8	0.2	3.1	3.8
参考指数騰落率 (%)	—	2.9	16.0	18.5	-3.9	5.4	6.2
純資産総額 (百万円)	2,720	1,967	1,420	1,227	1,125	1,011	982

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

C B市場は、上昇しました。為替市場では、米ドルは円に対して下落しました。

## C B市場

2024年の春先までの堅調な株式市場がサポート要因となり、C B市場は上昇しました。また、C Bの新規発行市場が活発であったこともサポート要因の一つとなりました。

一方で、C B市場はハイテク銘柄を中心とするメガキャップと呼ばれるような超大型株の銘柄の割合が限られているため、中小型銘柄と連動する傾向にあります。その

ため、人工知能ブームが意識される昨今において、米国株式市場をけん引してきた大型ハイテク銘柄の上昇局面の恩恵は限定的でした。

## 為替市場

米ドルは日本円に対して下落しました。期中、日銀は政策金利を-0.10%から+0.25%まで引き上げました。

ポートフォリオについて(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

## 当ファンド

期初より「グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」に投資し、「グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)」を高位に組み入れました。

ただし、グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)は2024年8月中に繰上償還となりました。

## グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)

C Bファンドにおけるポジション構築においては、株式の感応度を30%程度にしつつ、質の高い発行体やデュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)の短い銘柄を選好しました。また、銘柄選択においては、米国をオーバーウェイト、欧州とアジアをアンダーウェイトとしました。

業種的にはサイバーセキュリティやヘル

スケアクターをオーバーウェイトにした一方、公共セクターや工業セクターをアンダーウェイトとしましたが、相場状況に応じてポジションの縮小や拡大など柔軟な運用を行いました。

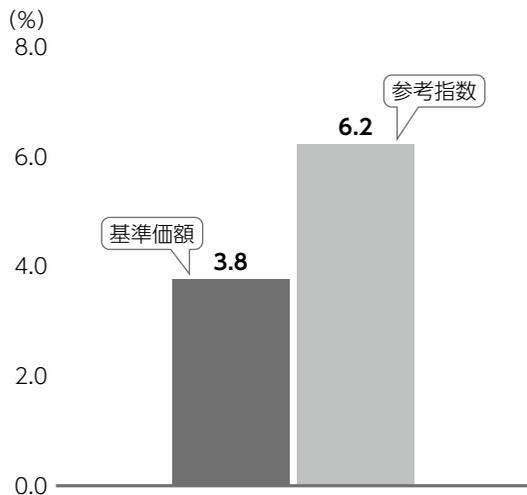
外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

## マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

#### 基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてFTSE・グローバル・フォーカスCBインデックス(円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

#### 分配金について(2023年10月27日から2024年9月11日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

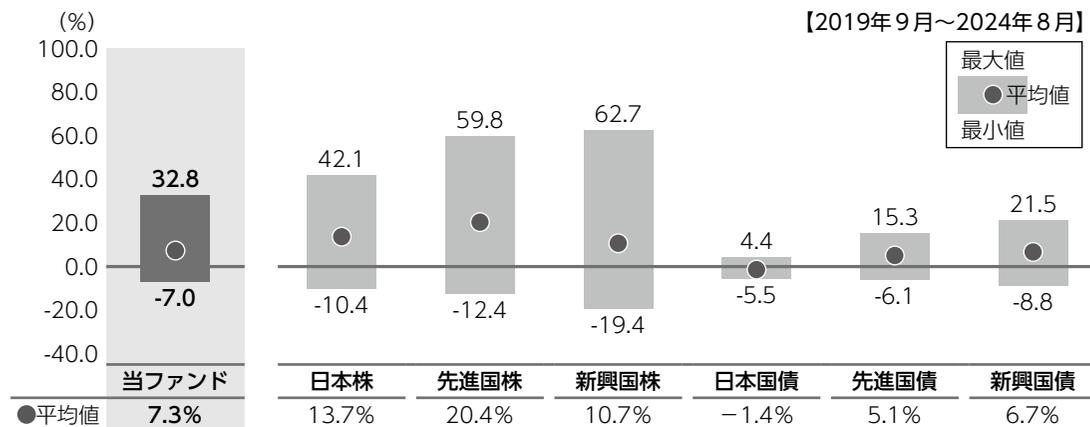
#### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	2015年10月30日から2024年9月11日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として、世界の企業が発行する転換社債等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 <b>グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)</b> 世界の企業が発行する転換社債 <b>マネー・マーケット・マザーファンド</b> 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、世界の企業が発行する転換社債(以下、「CB」ということがあります。)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>■投資対象とする外国投資信託証券の実質的な運用は、CBの運用に強みを持つエドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント(フランス)が行います。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組 入 制 限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年10月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

<b>日本株</b>	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
<b>先進国株</b>	<b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
<b>新興国株</b>	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
<b>日本国債</b>	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
<b>先進国債</b>	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
<b>新興国債</b>	<b>JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2024年9月11日)

有価証券等の組入れはありません。

### 純資産等

項目		第9期末 2024年9月11日	
純資産総額	(円)	982,886,594	※当期における、追加設定元本額は3,616,588円、解約元本額は59,189,594円です。
受益権総口数	(口)	825,029,223	
1万口当たり基準価額	(円)	11,913.35	

## 7 償還を迎えて

当ファンドは、2024年9月11日に償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。